

【結果概要版】



津山市男女共同参画市民アンケート調査

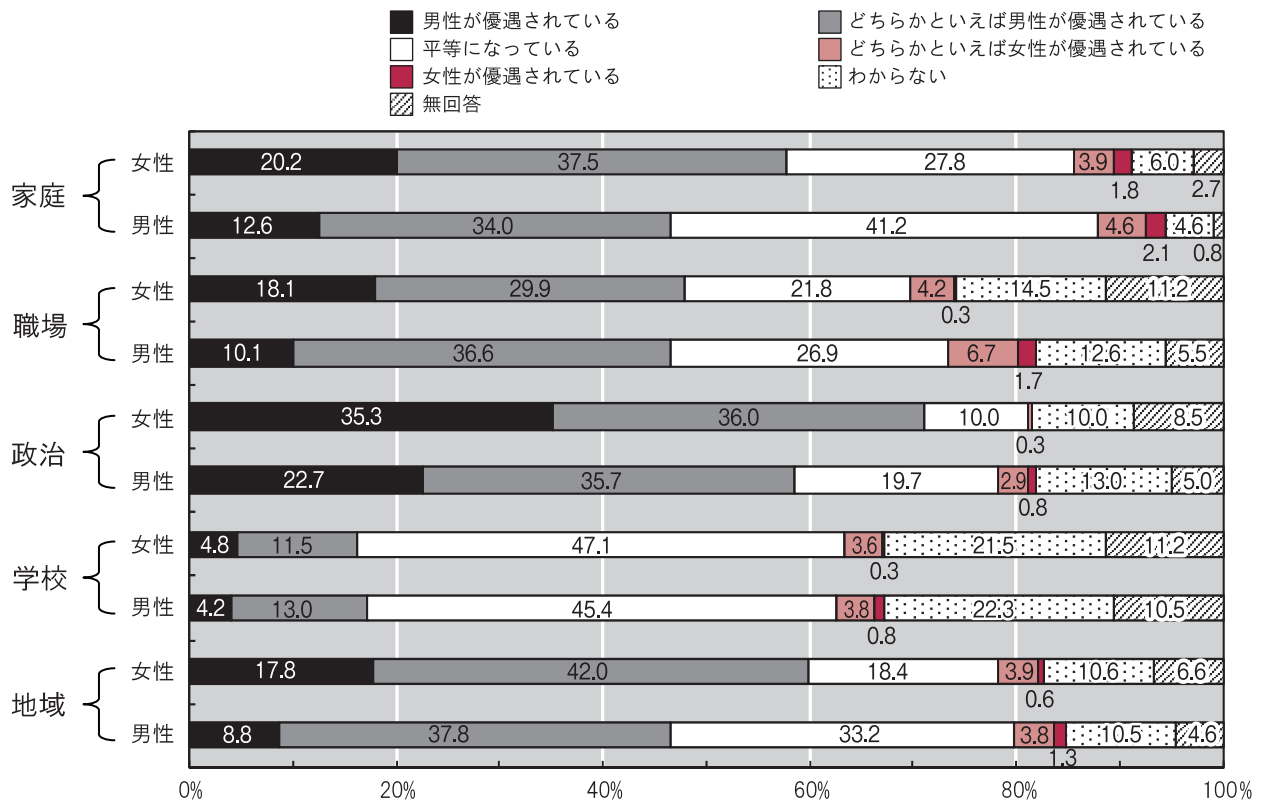
津山市では、「新つやま男女共同参画さんさんプラン」に基づき、男女の人権が尊重され、固定的な役割分担意識を解消し、自らの意思と価値観によってその個性と能力を十分に発揮することができる「男女が共にさんさんと輝けるまち津山」の実現に向けて取り組んでいます。

この調査は、市民の皆さんに男女共同参画に対するお考えやご意見を伺い、今後の施策を検討するうえでの基礎的な資料とさせていただくために実施しました。

▶ 調査の概要 津山市内在住の20歳以上の男女各1,000人計2,000人を対象に、平成23年7月に実施
有効回収数 627人（男性238人 女性331人 性別無回答58人） 回収率 31.4%

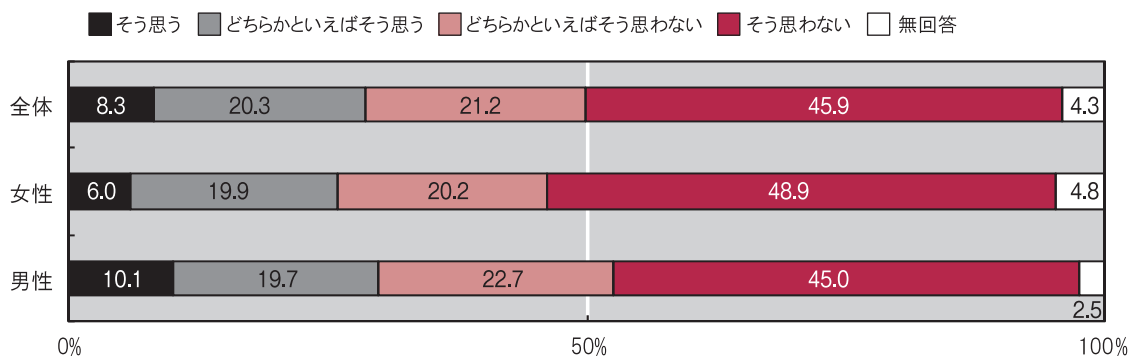
● 家庭・職場・政治・学校・地域において、男女が平等になっていると思いますか？

【男女平等意識】



「学校」では「平等」が最も多くなっていますが、その他の分野では「男性優遇」と思っている人が半数から6割強を占めています。

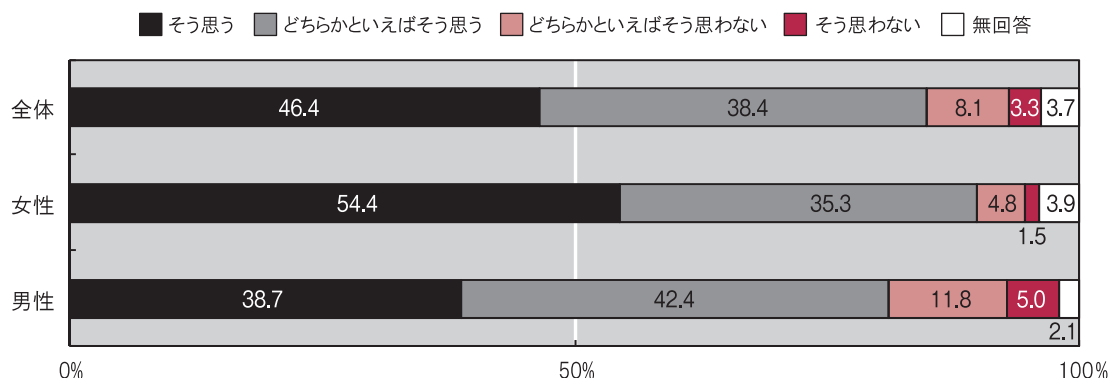
● 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだと思いますか？ 【性別役割分担意識】



「そう思わない」が男女共に最も多く、「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、全体の67.1%の人が「男性は仕事、女性は家庭」といった性別役割分担の考え方に反対しています。

● 男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担すべきだと思いますか？

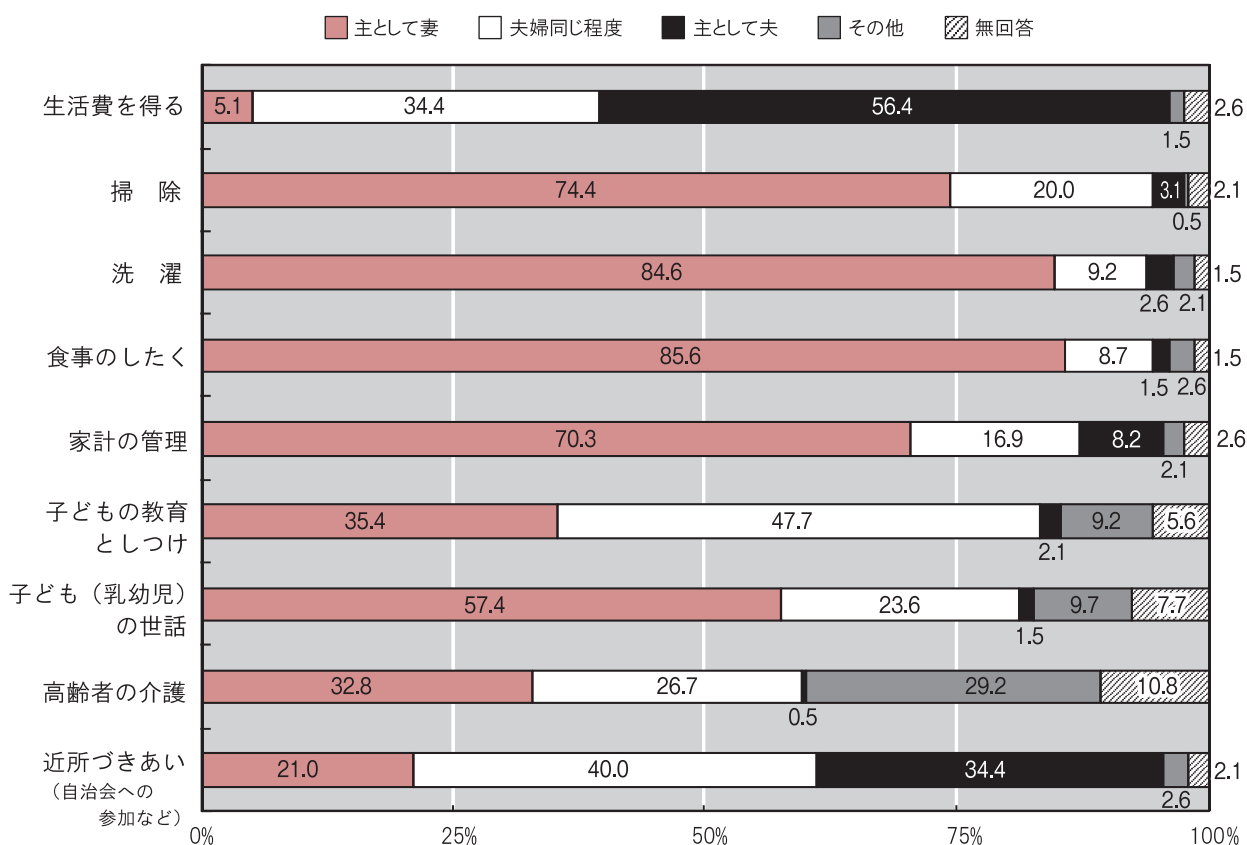
【性別役割分担意識】



「男性も家庭の責任を分担すべき」と思う人は全体の 84.8%と、大半を占めています。

● 家事や子育てなど、主に夫婦どちらが担当していますか？（就労形態：共働き）

【家庭における役割の現状】

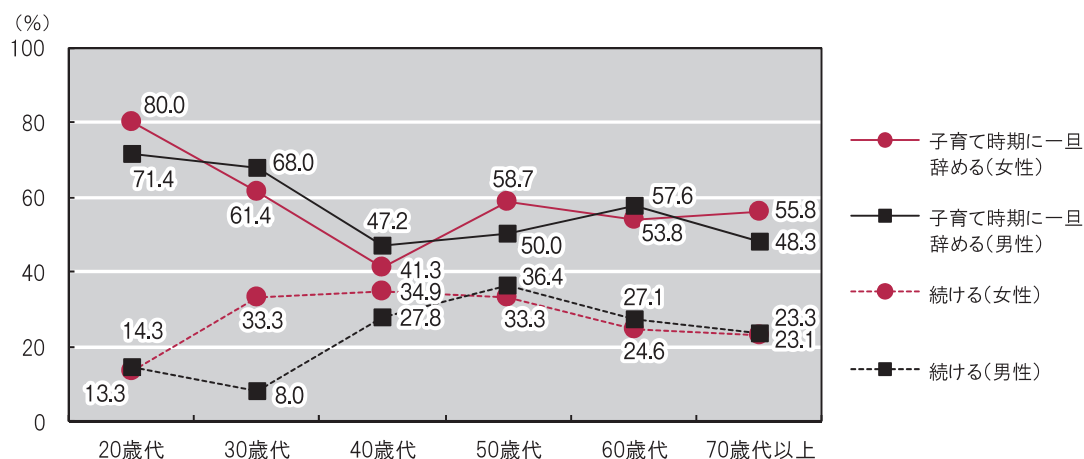


共働きであっても、「掃除」「洗濯」「食事のしたく」「家計の管理」「子どもの世話」といった家事や育児は「主として妻」が担っている現状がみられます。

家庭における性別役割分担意識は薄れてきているものの、現実には家庭のことは女性が担うといった従来からの性別役割分業は変わっていない実態が伺えます。

● 女性が仕事をもつことについて望ましいのは？（男女年代別） 【女性と仕事】

全体の回答として多かった「子育ての時期は一旦仕事を辞めて家庭に入り、子どもの手が離れたら再び仕事をもつ（54.9%）」と「結婚して子どもが生まれても仕事を続ける（26.6%）」について、男女年代別に比較。



20～30 歳代の若い世代で、「子育ての時期は一旦仕事を辞めて家庭に入り、子どもの手が離れたら再び仕事をもつのが望ましい」と思う人の割合が高くなっています。

● 職場において企画や方針決定の場に女性が少ない理由はどこにあると思いますか？ 【政策・方針決定過程への女性の参画】

仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから

男女の役割分担についての社会通念や風習が残っているから

男性優位の組織になっているから

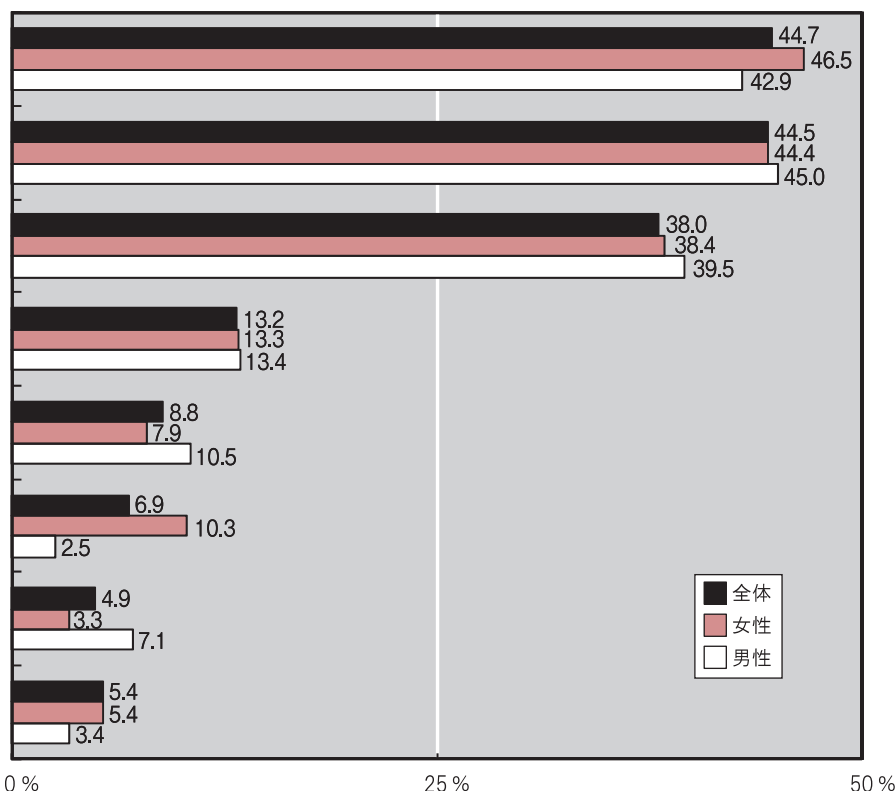
女性の側に積極性が欠けているから

女性に対する研修・訓練の場が不十分だから

家族の理解・協力が得られないから

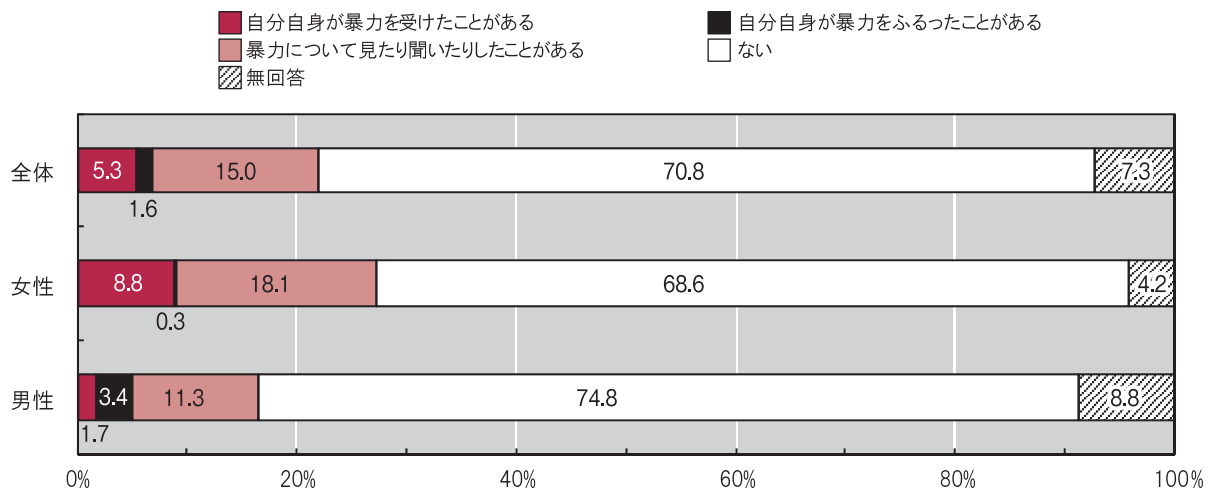
その他

無回答



「仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから」「男女の役割分担についての社会通念や風習が残っているから」「男性優位の組織になっているから」の回答が多くなっています。また、「家族の理解・協力が得られないから」は、男女で最も差が大きく、女性の方が高くなっています。

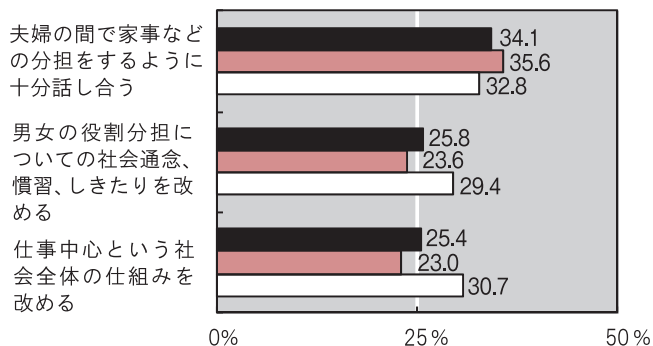
● あなたの身近にDV（ドメスティック・バイオレンス）がありますか？ 【DVの実態】



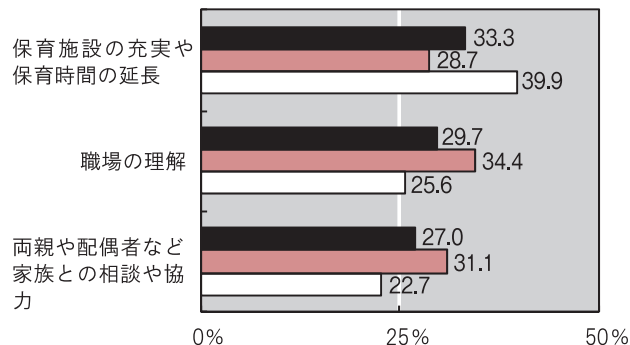
女性の8.8%、男性の1.7%が「自分自身が暴力を受けたことがある」と回答しています。

今後の課題や希望

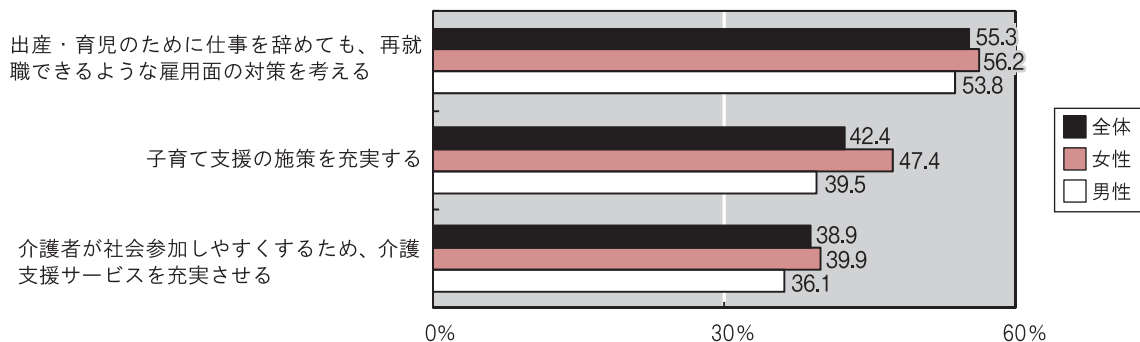
● 男性が家事や子育てなどに積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか？
【仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）】



● 女性が働きつづけるために必要なことは何だと思いますか？
【仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）】



● 男女共同参画の実現に向けて、今後、津山市はどのようなことに力をいれていけばよいと思いますか？
【行政の役割】



発行 / 岡山県津山市総務部人権啓発課

〒708-8520 岡山県津山市新魚町17 アルネ・津山5階
津山男女共同参画センター「さん・さん」

☎ (0868) 31-2533

調査協力 / (株) ジャパンインターナショナル総合研究所